

安全データシート

Asplit® CN Powder

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

改訂日: 2023/05/25 バージョン: 1.4

SDS 番号: 00359-1165



1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Asplit® CN Powder

製品コード : 592 0010

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 充填剤

会社情報

製造業者

TIP TOP Oberflächenschutz Elbe GmbH

6886

ドイツ Wittenberg Heuweg 4

T +49(0)3491/635-50 - F +49(0)3491/635-552

SDS 担当の有資格者の電子メールアドレス: sds@gbk-ingelheim.de

輸入業者

REMA TIP TOP- Japan

日本 452-0821 Nagoya 338, Kamiotai 2- Chome, Nishi-ku

T +81 (0) 52 502 3500 - F +81 (0) 52 502 3620

www.tiptop-japan.co.jp

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : INTERNATIONAL: +49 (0) 6132 - 84463, GBK GmbH (24h - 7d/w - 365d/a)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	皮膚腐食性／刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分に該当しない

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

危険有害性 (GHS JP)

: 皮膚刺激 (H315)
重篤な眼の損傷 (H318)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 粉じんを吸入しないこと。(P260)
適切な保護手袋、保護服、保護眼鏡、顔面の保護を着用すること。(P280)

応急措置

: 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
(P305+P351+P338)
直ちにポイズンセンター、医師に連絡すること。(P310)

他の危険有害性

分類に寄与しないその他の危険有害性 : 粉じんは、爆発性のある、空気との混合物を形成する可能性がある。

安全データシート

Asplit® CN Powder

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

SDS 番号: 00359-1165

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
コメント : 以下に言及される物質から生成され、危険でない添加剤を加えた混合物。

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
4-ヒドロキシベンゼンスルホン酸	< 5	-	(3)-1956	既存化学物質	98-67-9
硫酸ナトリウム (NaHSO ₄)	< 5	H ₂ O ₄ S·Na	(1)-501	1-(3)-227	7681-38-1
フェノール	< 1	-	(3)-481	既存化学物質	108-95-2
硫酸	< 1	H ₂ O ₄ S	(1)-430	既存化学物質	7664-93-9
p-トルエンスルホン酸一水和物	< 5	C ₇ H ₈ O ₃ S·H ₂ O	(3)-1901	既存化学物質	6192-52-5

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般 : 汚れた衣類は取り除き、再使用前に洗浄してください。
吸入した場合 : 事故の際に燃焼ガス、分解生成物あるいは粉塵を吸い込んだ場合は、新鮮な空気
の場所に連れて行く。
身体異常のある場合には、すぐに医師の手当てを受けてください。
皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
症状が継続する場合は医師に相談してください。
眼に入った場合 : まぶたの裏側も含め、直ちに多量の水で最低でも 15 分間洗眼すること。
眼の刺激が続く場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合 : 医師の診断なく、無理に吐かせない。
口をすすぐこと。
直ちに多量の水を摂取させる。
意識不明状態の者には決して口から物を与えない。
直ちに医師の診察を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合 : 粉じん吸入。
息切れ、胸部圧迫感、喉の痛み、咳を引き起こすことがある。
症状/損傷 皮膚に付着した場合 : 重度の火傷を引き起こす。
症状/損傷 眼に入った場合 : 重篤な眼の損傷。

医師に対する特別な注意事項

処置 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 製品自体は不燃性; 周辺火災に適合した消火対策を取る

安全データシート

Asplit® CN Powder

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

SDS 番号: 00359-1165

使ってはならない消火剤	: 多量のウォータージェット
火災危険性	: 製品は不燃性です。
爆発の危険	: 物質は爆発性ではない。 粉じんは、爆発性のある、空気との混合物を形成する可能性がある。
火災時の危険有害性分解生成物	: 火災が発生する可能性: 炭素酸化物(CO、CO2)、 硫黄酸化物
消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
消火時の保護具	: 自給式呼吸器および化学物質用防護服を着用する。
火災の予防策	: ホスプレージェットで危険にさらされた容器を冷却。
その他の情報	: 危険が及ぶ容器に散水して冷却する。 火災残留物や汚染された消火水は当該地の規定に従って廃棄する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 粉塵発生及び堆積を回避すること。 粉じん吸入の危険がある場合は、自給式呼吸器を着用する。 十分な換気を確保する。 保護服を使用する。
-------	---

非緊急対応者

応急処置	: 漏出エリアを換気する。 皮膚、眼との接触を避ける。
粉じん発生時の措置	: 粉じんの影響を受けないよう、呼吸器保護具を使用すること。

緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
-----	---

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	: 排水溝/地上水/地下水に混入させないこと。
------------	-------------------------

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	: ほこりを立てないようにすること。
浄化方法	: 機械的方法で粉塵を出さずに回収し、適切な容器に収納して廃棄処理に出すこと。 廃棄より再生利用（リサイクリング）を優先する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: データなし
安全取扱注意事項	: 容器をしっかりと閉じてください。 粉塵発生及び堆積を回避すること。 粉じんが発生する箇所に適切な排気装置を設置する。 粉塵により空気中で爆発性混合物が発生することがあります。

安全データシート

Asplit® CN Powder

JIS Z 7253 : 2019 に準拠
SDS 番号: 00359-1165

接触回避	: データなし
衛生対策	: 休憩に入る前および作業後は手を洗う。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保管	
安全な保管条件	: 容器は密封し、低温で乾燥した換気のよい場所に保管する。
安全な容器包装材料	: データなし
混合保管に関する情報	: 動物用のものも含めて、食べ物や飲み物から離れた所に保存する。

8. ばく露防止及び保護措置

監視方法	: 特定のばく露サンプリング法はありません
生物学的モニタリング法	: 特定のばく露サンプリング法はありません

フェノール (108-95-2)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	フェノール # Phenol
許容濃度	19 mg/m ³ 5 ppm
特記事項 (JP)	経皮吸収; 生殖毒性分類 3
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻
日本 - 生物学的ばく露指数 (日本産業衛生学会)	
BEI	250 mg/g クレアチニン 測定対象物質: 総フェノール (遊離体, グルクロン酸抱合体, 硫酸抱合体) - 測定対象試料: 尿 - 試料採取時期: 作業終了時
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻
硫酸 (7664-93-9)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	硫酸 # Phosphoric acid
許容濃度 上限	1 mg/m ³
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

機器	フィルタタイプ	条件	規格
防塵マスク		粉じん保護	EN 149

手の保護具 : ニトリルゴム、ニトリル/綿、ブチル、またネオプレン製化学防護手袋の厚さは最低 0.7mm とし、着用時間は約 480 分である、この推奨は実験室条件下における化学的適合性および EN 374 準拠テストにのみ基づく、適用次第では異なる要件が生ずる。そのため、保護手袋納入業者の推奨を更に配慮すること、Pls. find examples in the protective gloves database under:
<http://bestglove.com/site/chemrest/>

眼の保護具 : きれいな水と洗眼ボトル (EN 15154)

安全データシート

Asplit® CN Powder

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

SDS 番号: 00359-1165

タイプ	適用分野	特徴	規格
サイドシールド付き安全メガネ	粉じん		EN 166
タイプ	規格		
長袖防護服	EN ISO 6530		

環境へのばく露の制限と監視

: 環境への放出を避けること。

その他の情報

: 粉じんを吸い込まないこと、休憩に入る前および作業後は手を洗う、この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚れた衣類は取り除き、再使用前に洗浄してください

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
外観	: 粉末
色	: 黒色
臭い	: 無臭
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: 非該当
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: 約 1.99 g/cm ³ @20° C
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 不溶性。20° C で。
Log Pow	: データなし
爆発特性	: 物質は爆発性ではない。粉じんは、爆発性のある、空気との混合物を形成する可能性がある。
爆発限界 (vol %)	: データなし
酸化特性	: 非酸化
動粘性率	: データなし
VOC 含有量	: 0 %
粒子特性	: データなし
追加情報	: 固形分濃度 100%. 溶剤の成分 0 %

10. 安定性及び反応性

反応性	: 指定通り保管し使用する限り分解しない。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 危険性のある反応は確認されていません。
避けるべき条件	: 粉塵発生及び堆積を回避すること。粉じんは、爆発性のある、空気との混合物を形成する可能性がある。
混触危険物質	: 特記すべき成分はありません。

安全データシート

Asplit® CN Powder

JIS Z 7253 : 2019 に準拠
SDS 番号: 00359-1165

危険有害な分解生成物

: 危険有害な分解生成物は知られていない。熱分解により次のものを生成する: 炭素酸化物(CO、CO₂)。硫黄酸化物。

11. 有害性情報

潜在的な健康有害性及び症状

: 粉じん吸入、息切れ、胸部圧迫感、喉の痛み、咳を引き起こすことがある。

急性毒性 (経口)

: データなし

急性毒性 (経皮)

: データなし

急性毒性 (吸入)

: データなし

硫酸 (7664-93-9)

急性毒性 (経口)	ラット LD50 値 : 2140mg/kg (SIDS, 2001) およびヒトでの経口摂取 (摂取量は不明) による死亡例の報告があるとの記述に基づき区分 5 とした。
急性毒性 (経皮)	データなし。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS 定義による液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	ラット LC50 値 (4 時間暴露) : 0.375mg/L および (1 時間暴露) : 347ppm (4 時間換算値 : 0.347mg/L) (いずれも (SIDS, 2001)) に基づき、区分 2 とした。

皮膚腐食性/刺激性

: 皮膚刺激

硫酸 (7664-93-9)

皮膚腐食性/刺激性	政府による分類では以下の理由により「区分 1A-1C」であるが、NITE により区分 1 とした。濃硫酸の pH は 1 以下であることから、GHS 分類基準に従い腐食性物質と判断され、区分 1A-1C と分類した。
-----------	--

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

: 重篤な眼の損傷

硫酸 (7664-93-9)

眼に対する重篤な損傷性/刺激性	ヒトでの事故例では前眼房の溶解を伴う眼の重篤な損傷が認められたとの記述 (ATSDR, 1998)、ウサギの眼に対して 5%液で中等度、10%液では強度の刺激性が認められたとの記述 (SIDS, 2001) および本物質の pH が 2 以下であることから区分 1 とした。
-----------------	---

呼吸器感受性

: データなし

硫酸 (7664-93-9)

呼吸器感受性	データなし。
--------	--------

皮膚感受性

: データなし

硫酸 (7664-93-9)

皮膚感受性	硫酸の皮膚感受性に関する試験データはない。硫酸は何十年と工業的に利用されているが、皮膚刺激作用による皮膚障害がよく知られている一方、皮膚感受性の症例報告は皆無である。体内には硫酸イオンが大量に存在する (血清中の硫酸イオンは~33mmol/L、細胞内にはその 50 倍) が、アレルギー反応は起こらない。金属の硫酸塩のアレルギー性試験では、金属によるアレルギー性陽性となることはあっても、硫酸イオンでは陰性となることは、硫酸亜鉛での陰性の結果から推定される。以上の結果から硫酸はヒトに対してアレルギー性を示さないとの結論が得られる、との記述 (SIDS,1998) から、区分外とした。
-------	---

安全データシート

Asplit® CN Powder

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

SDS 番号: 00359-1165

生殖細胞変異原性 : データなし

硫酸 (7664-93-9)	
生殖細胞変異原性	In vivo では生殖細胞、体細胞を用いたいずれの試験データもなく、In vitro 変異原性試験では単一指標（染色体異常試験）の試験系でのみ陽性の結果がある（ATSDR, 1998）が、他の指標では陰性であることから、分類できないとした。

発がん性 : データなし

硫酸 (7664-93-9)	
発がん性	硫酸を含む無機強酸のミストへの職業的暴露については、IARC（1992）でグループ 1、ACGIH（2004）で A2、NTP（2005）で K に分類されていることから、IARC の評価および最近の NTP の評価を尊重し、区分 1 に分類されるが、硫酸そのものについては、DFGOT（vol.15, 2001）でカテゴリー 4 に分類している他、いずれの機関においても発がん性の分類をしていないことから、分類できないとした。

生殖毒性 : データなし

硫酸 (7664-93-9)	
生殖毒性	ウサギおよびマウスでの胎児器官形成期に吸入暴露した試験では、母獣に毒性が認められない用量では、両種ともに胎児毒性および催奇形性は認められず（SIDS, 2001）、また、慢性毒性試験および発がん性試験においても雌雄の生殖器官への影響は認められず、刺激性/腐食性による直接作用が主たる毒性であることから、生殖毒性を示す懸念はないと判断されている（SIDS, 2001）ことから、区分外とした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : データなし

硫酸 (7664-93-9)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ヒトでの低濃度の吸入暴露では咳、息切れなどの気道刺激症状が認められており（DFGOT, 2001）、高濃度暴露では咳、息切れ、血痰排出などの急性影響のほか、肺の機能低下および繊維化、気腫などの永続的な影響が認められたとの記述（ATSDR, 1998）およびモルモットでの 8 時間吸入暴露で肺の出血および機能障害が認められたとの記述（ATSDR, 1998）から、区分 1（呼吸器系）とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : データなし

硫酸 (7664-93-9)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	SIDS（2001）のラットでの 28 日間吸入暴露試験では区分 1 のガイダンス値範囲で喉頭粘膜に細胞増殖が認められ、ATSDR（1998）のモルモットでの 14～139 日間反復吸入暴露試験では区分 1 のガイダンス値範囲内の濃度で鼻中隔浮腫、肺気腫、無気肺、細気管支の充血、浮腫、出血、血栓などの気道および肺の障害が、さらに、カニクイザルでの 78 週間吸入暴露試験では、肺の細気管支に細胞の過形成、壁の肥厚などの組織学的変化が、区分 1 のガイダンス値の範囲の用量（0.048mg/L、23.5Hr/Day）で認められたことから、区分 1（呼吸器系）とした。

誤えん有害性 : データなし

安全データシート

Asplit® CN Powder

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

SDS 番号: 00359-1165

硫酸 (7664-93-9)	
誤えん有害性	データなし。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分に該当しない

水生環境有害性(慢性) : データなし

硫酸 (7664-93-9)	
水生環境有害性 短期 (急性)	魚類 (ブルーギル)96 時間 LC50 (pH3.25~3.5) =16~28 mg/L (OECD SIDS: 2001) であることから、区分 3 とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	慢性毒性データを用いた場合、無機化合物につき環境中動態が不明であるが、魚類 (カダヤシ) の 45 日間 NOEC (成長) (pH6.0) = 0.025 mg/L (OECD SIDS: 2001) であることから、区分 1 となる。カダヤシは卵胎生のため、本来分類に結果を利用できないが、対象物質の成長への影響が大きく、他の魚種で同等以上の毒性が予測されることから使用した。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、無機化合物につき環境中動態が不明であるが、甲殻類 (オシロイソデ) の 24 時間 LC50 = 29 mg/L (OECD SIDS: 2001) であることから、区分 3 となる。以上の結果から、区分 1 とした。
EC50 ミジンコ 1	29 mg/l
NOEC 魚 慢性	0.025 mg/l

残留性・分解性

Asplit® CN Powder	
残留性・分解性	データなし。

生体蓄積性

Asplit® CN Powder	
生体蓄積性	データなし。

土壌中の移動性

Asplit® CN Powder	
土壌中の移動性	データなし
生態系 - 土壌	データなし。

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : データなし

その他の有害な影響

その他の有害な影響 : 水質におよぼす危険は低い。

その他の情報 : 表層水、または下水に流さない

安全データシート

Asplit® CN Powder

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

SDS 番号: 00359-1165

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分

: 空容器は、現地のリサイクル、再生あるいは廃棄処理に引き渡すこと。
汚染された包装は完全に空にし、適切な洗浄処理をした後で再使用可能。
洗浄不可能な包装は内容物と同様に廃棄すること。

廃棄方法

: 地域の規制に準拠して廃棄しなければならない。
廃棄より再生利用（リサイクル）を優先する。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDG / IMDG / IATA / ADN / RID / ADRに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)
国連番号		
非該当	非該当	非該当
国連正式品名		
非該当	非該当	非該当
輸送危険物分類		
非該当	非該当	非該当
容器等級		
非該当	非該当	非該当
環境有害性		
非該当	非該当	非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報

: 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

化審法

: 優先評価化学物質（法第2条第5項）

安全データシート

Asplit® CN Powder

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

SDS 番号: 00359-1165

労働安全衛生法

: 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9）

適用条件:

0. 1重量%以上を含有する製剤その他の物（安衛則第30条・別表第2）。運搬・貯蔵中に固体以外の状態にならず、かつ、粉状にならない物であって、令別表第一に掲げる危険物、可燃性の物等爆発又は火災の原因となるおそれのある物並びに皮膚に対して腐食の危険を生じるものでないものを除く。

【改正後 令和8年4月1日以降】

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2）

適用条件:

1重量%

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9）

フェノール（政令番号：474）（5%未満）

適用条件:

0. 1重量%以上を含有する製剤その他の物（施行令第18条の2第2号、安衛則第34条の2別表第2）

【改正後 令和8年4月1日以降】

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2）

硫酸水素ナトリウム（5%未満）

適用条件:

1重量%

腐食性液体（労働安全衛生規則第326条）

歯科健康診断対象物質（法第66条第3項、施行令第22条第3項）

毒物及び劇物取締法

: 劇物（指定令第2条）

塩化水素と硫酸とを含有する製剤（5%未満）

適用条件:

塩化水素と硫酸とを含有する製剤。塩化水素と硫酸とを合わせて10%以下を含有するものを除く。

化学兵器禁止法

: 有機化学物質（法第29条1、施行令第4条1）

水質汚濁防止法

: 指定物質（法第2条第4項、施行令第3条の3）

生活環境汚染項目（法第2条、施行令第3条、排水基準を定める省令第1条別表第2）

消防法

: 指定可燃物、可燃性固体類（法第9条の4、危険物令第1条の12・別表第4）

適用条件:

固体で次のイ、ハ又はニのいずれかに該当するもの（1気圧において、温度20℃を超え、40℃以下の間において液状となるもので、次のロ、ハ又はニのいずれかに該当するものを含む）イ. 引火点が40℃以上100℃未満のもの、ロ. 引火点が70℃以上100℃未満のもの、ハ. 引火点が100℃以上200℃未満で、かつ、燃焼熱量が34kJ（キロジュール）/g以上のもの、ニ. 引火点が200℃以上で、かつ、燃焼熱量が34kJ（キロジュール）/g以上で、融点が100℃未満のもの（危険物令別表4備考5）

安全データシート

Asplit® CN Powder

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

SDS 番号: 00359-1165

大気汚染防止法	: 特定物質（法第17条第1項、施行令第10条） 適用条件: 排気 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第9次答申） 適用条件: 排気 揮発性有機化合物（法第2条第4項）（環境省から都道府県への通達） 適用条件: 排気
海洋汚染防止法	: 有害でない物質（施行令別表第1の2） 有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1） 有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1）
外国為替及び外国貿易法	: 輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」 適用条件: （廃棄物）【特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）】0.1重量%以上含む物 輸出貿易管理令別表第1の2項 輸出貿易管理令別表第1の16の項 輸出貿易管理令別表第2（輸出の承認） 適用条件: （廃棄物）【特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）】0.1重量%以上含む物
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	: 特定有害廃棄物（法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号） 適用条件: 0.1重量%以上含む物
水道法	: 有害物質（法第4条第2項）、水質基準（平15省令101号）
下水道法	: 水質基準物質（法第12条の2第2項、施行令第9条の4）
労働基準法	: 疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1）

16. その他の情報

その他の情報	: 4～8項および10～12項の記述は一部、製品の使用および指定通りの適用に関するものではなく(製品説明書・使用説明書を参照)、事故や異常事態で大量放出が発生した場合に該当する。記述内容は製品の安全要求だけに限定し、現時点での知見に基づいている。出荷仕様は製品のデータシートを参照のこと。データシートに記述された特性内容は法律上の保証規定を保証するものではない。
--------	---

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしてはいるが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。